

令和6年3月

「第3次軽井沢町障がい者計画」(素案)及び「軽井沢町第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」(素案)に関する  
パブリックコメントの結果について

軽井沢町 保健福祉課

「第3次軽井沢町障がい者計画」(素案)及び「軽井沢町第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」(素案)を公表し、意見募集を実施しました。  
その結果および提出されたご意見とこれに対する町の考え方を整理しました。

(1)意見募集期間

令和6年2月19日(月)から令和6年3月19日(火)まで

(2)意見提出件数

6 件( 3人)

(3)区分

軽井沢に住んでいる 3人

(4)ご意見と町の考え方

提出いただいたご意見は意見の趣旨を損なわない程度に要約・補足している場合があります。

◎「第3次軽井沢町障がい者計画」(素案)に対するご意見

No.	意見内容	意見に対する町の考え方
1	<p>障がいのある児童生徒の一人ひとりが輝くために、学校教育の中で以下の点について施策として取り組んでいただきたい。</p> <p>1. 児童生徒の「困り感」に気付ける教職員等の育成 自分の障がいや障がい傾向について気づいていなかったり、保護者を含む大人たちも気づけていないため、支援の機会を逃していることがあるが、適切な支援を行うためには、周りにいる大人、特に教職員などが気になる行動パターンなどがなく課題意識を持ち、それを基に、校内委員会などと連携して、支援を検討・立案し実施していくことが将来の社会的自立のためのスタートであることから、学校単位であるいは教育委員会単位での『児童生徒の「困り感」に気付ける教職員などの育成のための研修会』を、全教職員に対して施策として実施していただきたい。</p>	<p>1. について これまでも町内教職員に対して、スクールサポーターや佐久圏域サポートマネージャーによる発達障がいについての研修会を重ねてきておりますが、毎年実施していないことから、町の取り組みとして、実施を検討していきたいと考えております。</p>
2	<p>2. 個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・活用・見直し 障がいのある児童生徒が、日々充実した生活を過ごし、将来社会的に自立し生きがいをもって生活していくためには「障がいのある児童生徒の一人ひとりのニーズを正確に把握し、教育の視点から適切に対応していくという考えの下、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業までを通し、一貫して的確な教育的支援を行うこと」が重要である。 そのためには、必要があると思われる障がいのある児童生徒について、継続的な支援の実施のため、個別の教育支援計画の作成、活用と見直しを保護者の理解協力を得て徹底していただきたい。 加えて、個別の教育支援計画を受けて作成される、具体的短期的計画である、個別の指導計画の活用・見直しも推進していただきたい。</p>	<p>個別の支援計画、指導計画については、毎年、特別支援学級在籍の児童生徒、来年度開設される通級指導教室利用児童、普通教室で見通しを持った支援が必要な児童生徒について作成されています。 環境や成長に伴い、その時々課題も変わってくるため、ご指摘の通り、推進について大切に考え、進めていきたいと考えております。</p>
3	<p>3. 医療的ケアの実施体制の拡充 学校での医療的ケアは医療行為を必要とする児童生徒が、安全・安心で充実した学校生活を送るために不可欠である。保健・医療、福祉などの機関と連携し、医療的ケアの実施体制の拡充に引き続き施策として取り組んでいただきたい。  「誰ひとり取り残さないまち 軽井沢」実現のため、特別支援教育の推進と拡充をお願いしたい。</p>	<p>学びと医療の両面から、医療的ケアを必要とする児童生徒に対する実施体制の拡充を進めています。 同時に、個の学び、小集団での学び、集団での学びを大切にしながら、全ての児童生徒にとってより良い体制づくりを目指して、関係各所と協働を深めていきたいと考えております。</p>

4	<p>視覚障がい者や身体に障がいがあるため文字による読書が困難な方々のために、広報録音などのCD作成を行っているグループに所属し、10年活動している。</p> <p>実際に障がいをお持ちの方に面会する機会がなく、勉強を続けている。障がいのある方のために、デージー図書の作成や対面朗読も行いたいと考えている。</p> <p>利用者の方々の要望を聞くための場が欲しい。</p>	<p>精力的にご活動いただきありがとうございます。</p> <p>読書のバリアフリーが充実するよう周知を進めるとともに、より利用者が利用しやすくなるよう、当事者団体などへ働きかけながら、要望などを聞く機会が設けられるよう検討したいと考えております。</p>
5	<p>読書バリアフリーの促進について、既に軽井沢図書館においてサピエ図書館の導入や録音図書の再生機器の貸し出し事業がされているが、どの程度利用されているのか。利用が少ないようであれば、その情報を、利用の可能性のある方に届けてほしい。</p>	<p>サピエ図書館の導入や録音図書の再生機器の貸し出しなどが多くの方に利用いただけるよう、周知を図っていきたいと考えております。</p>
6	<p>町内に、障がい者のためのボランティア活動をしているグループが数多くある。</p> <p>障がい者の声がボランティア団体に届くよう、社会福祉協議会などに橋渡しの役割を担ってもらえれば、ボランティア団体の活動の励みになると思う。</p>	<p>障がいのある人のニーズ把握のために重要と考えますので、当事者団体とボランティア団体などとの交流促進を図りたいと考えております。</p> <p>基本目標4 ③に追記いたしました。</p>